

井手たくの問い

縦貫道路に関しては現状県として一連の作業に伴う資料というのはないと。これについて私自身思うのは、神奈川県としては非常に重要な情報になってくると思うんです。

これは商工部門とか、企画政策部門等でもどういう車の流れになっていくのかというの、例えば産業や観光ともものすごく密接にかかわってきますので、きちっとした形で定義をしておくべきだと私自身思っているんです。

県土整備部参事(国土調整担当)の答え

先ほどご答弁させていただいたとおり、国からお借りした交通量のデータというのは、県は今持っていないというような状況でございます。

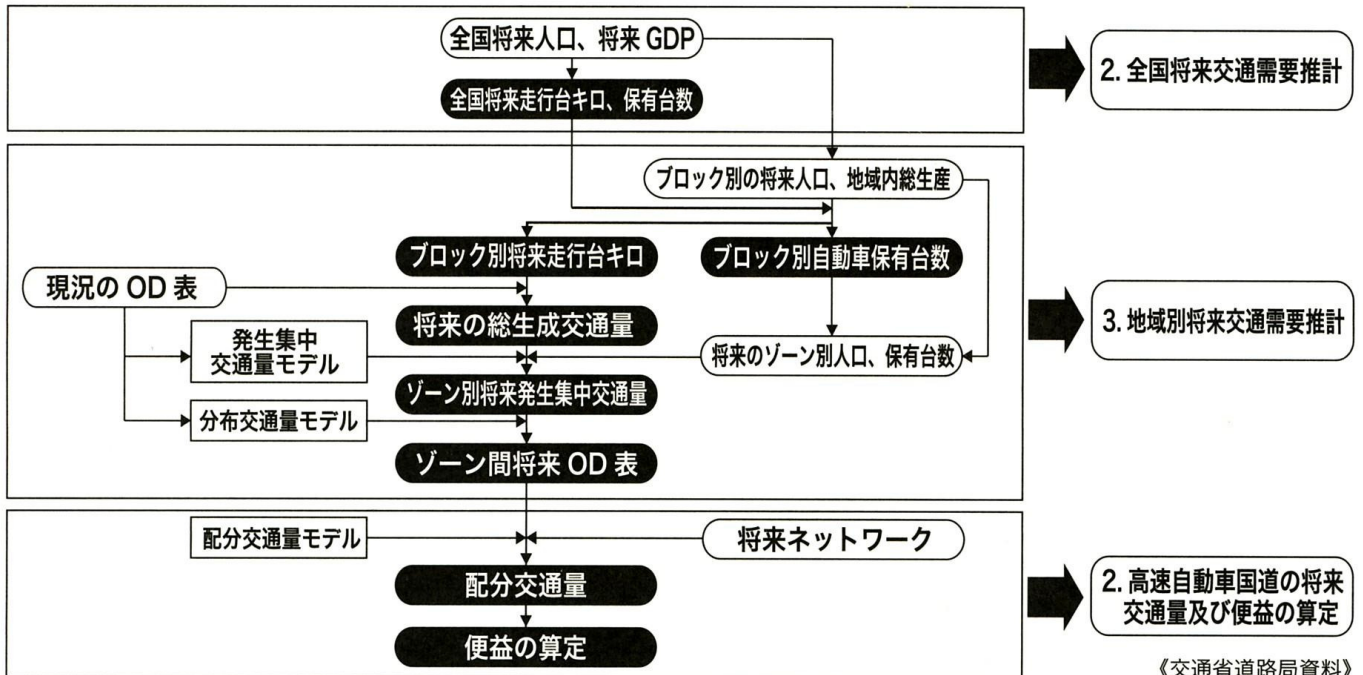
井手たくの問い

平成19年も建設常任委員会でほかの同僚委員からさがみ縦貫道路に関する影響について質問が出ていますね。さがみ縦貫道路と並行する一般道路の渋滞が2割、3割削減をされるとか、茅ヶ崎市役所から八王子市役所までの時間が相当短縮される等、いろいろなご答弁があったのですが、どうやって確認ができたんですかということをお聞きしたら、まず、パンフレットである、それと電話で、横浜国道事務所に確認をしたというような状況だそうです。このことについてもお伺いしたんですが。

県土整備部参事(国土調整担当)の答え

さがみ縦貫道路の整備効果等についての根拠ということですが、これは事業者であります国や中日本高速道路が公表用に作成したパンフレットなどの資料、あるいは事業者からその都度聞いているというようなものでございます。

■将来交通量推計フロー



情報を集め、庁内で横断的に計画的に進めないから無駄といわれる。